

2024年 さわやか通信



OWLS NEWS



つちや

品子



■ 2024年 夏号 ■ 編集・発行：自民党埼玉県第十六選挙区支部

■ お問い合わせ先：春日部市粕壁東2-3-40グレースヒル橋本101

TEL:048-761-0475 FAX:048-763-3475 e-mail:otayori@owls.jp WEB:www.owls.jp/shinako

■ 土屋品子オフィシャルサイト・Facebook・X (旧Twitter) ・選挙ドットコムページはこちらのQRコードから！



復興大臣としての通常国会が閉会しました

第213回通常国会が6月23日に閉会しました。元旦に発生した能登半島地震の復旧復興支援を第一に、政策課題へ着実に対処した国会でした。年々加速する少子化傾向に歯止めをかけるための少子化対策関連法が成立し、経済政策としては定額減税を実現し、物価上昇を超える賃上げを目指した政策を推進してまいりました。

その一方で、政治資金規正法についての議論が大きな注目を集めました。政治資金に関する問題で、自民党は厳しいご意見をいただいております。お声を真摯に受け止め、実態の解明を行い、再発防止に取り組まなくてはなりません。私自身は、初当選以来、どこの派閥にも所属せず活動してまいりました。無派閥を貫いてきたからこそできる提言を行い、政治への信頼を取り戻してまいります。与野党の協議の末、改正規正法が成立いたしました。これでおしまいとするのではなく、まずは改革に向け第一歩を踏み出したところです。信頼なくして政治はできません。全力の取り組みを進めてまいります。

復興大臣として、全力を尽くした国会でありました。東日本大震災から13年経ちますが、未だ帰還困難区域が設定されており、多くの方が故郷を離れての生活を余儀なくされています。帰還を望む方の早期の帰還を目指すとともに、足繁く現地に赴き、現場の声を生かしてまいりました。同時に、ALPS処理水の風評被害対策として被災三県の生產品の輸出拡大、観光客の誘致を進めてまいりました。エフレイ※(福島国際研究教育機構)の本格始動に向けては、施設の建設と共に研究代表者の採用を進めております。すべて東北の未来のため、歩みを進めているところです。

地元の課題も着実に進んでおります。春日部駅付近連続立体交差事業、東埼玉道路延伸に関しては早期の実現を目指し引き続き要請を行い、地下鉄7号線延伸についても、新たな枠組みのもと実現を目指します。洪水対策として、中川から江戸川への放水路の整備も決定しました。引き続き、皆さまの声をいただきながら政策提言を行い、着実に責務を果たしてまいります。

復興大臣 土屋品子



2023. 10. 4 石巻南浜津波復興祈念公園にて献花



6. 5 能登半島地震の被災地域を視察



5. 31 第6回能登半島地震復旧・復興支援本部

※エフレイとは、科学技術力と産業競争力強化のために設立された世界最高水準の研究機関です。

復興支援とは

6月7日に内堀福島県知事と達増岩手県知事が来訪された際、これからの復興についての意見交換をしました。一言で「復興支援」といっても、地域により異なるニーズに対応するために細やかに意見を吸い上げる必要があります。

福島県知事からは、帰還困難区域の復興・再生、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進、エフレイ(福島国際研究教育機構)の取組の総合的な推進、ALPS処理水の処分に係る責任ある対応、除去土壌等の県外最終処分に向けた取組の推進などに向けた総合的な施策の推進のための予算確保を要望されました。また、第2期復興・創生期間やその後も見据えた復興需要を把握し、十分な財源と枠組み、復興を支える制度をしっかりと確保するようお願いされました。

そして岩手県知事からは、現在までの復興の進捗を評価しつつ、心のケアや水産業の販路開拓などにおいて、被災地域の課題が残っているとお話を伺いまして、これらの復興の推進に必要な予算の確保、取組の継続等についての要望がありました。

復興庁としては、被災者支援や地域の課題に対しても長期的な支援を継続し、持続可能な復興を目指し、また復興施策の総括に関する議論を進める中で、具体的な方向性についても検討していく旨を伝えました。国民の皆様には特別な負担を求めることなく、地域の課題に対して適切に支援するためにも、現場主義を徹底し、被災地に寄り添うことが重要です。復興庁は、必要な復興事業に支障をきたさぬよう、適切な予算確保等に努めてまいります。

You Tube

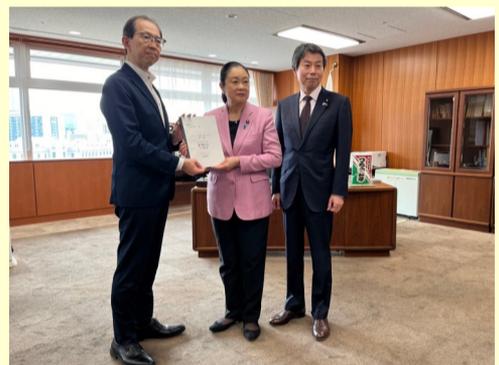
「しなチャンネル」では活動報告や季節の料理等を配信しています！




4. 24 宮城県岩沼市「JOCAジョカ東北」にて



4. 30 福島県「とみおかワインドメニュー」にて



6. 7 内堀福島県知事と

16区の皆さんとの交流

復興大臣として東北3県を回ることが増えてきましたが、時間のある限り16区の皆さまとも交流をしてきました。特に春日部のゴールデンウィークは、「藤まつり」や「大凧あげ祭り」などの大きなイベントが目白押しで、今年も参加させていただきました。青空の下、絶好の凧あげ日和にたくさんの方とお話する機会をいただき、非常に充実した1日となりました。また今年の小凧には、「復興」の二文字が入られました。能登半島地震の復興を願って選ばれた文字だそうです。



「復興」の文字の入った小凧



3. 24 第112回岩槻安穏朝市



4. 28 春日部「藤まつり」



4. 29 春日部「ブロンズ通りフェスティバル」



5. 3 春日部「大凧あげ祭り」



5. 19 まつぶし緑の丘公園「第16回春の花まつり」



6. 27 吉川市立三輪野江小学校 国会見学